

『保護者のための Instagram ガイド』 ～子どもが安全に Instagram を利用するために～

国内の利用者数は 3,300 万人を超え、10～20 代の若者たちに人気の SNS アプリの「Instagram (インスタグラム)」。“インスタ映え”という言葉が流行語になるなど知名度は高いですが、保護者の中には「名前は知っているけど、どういうものかよく分からない」という方も多いのではないのでしょうか。

Instagramでは、安全な利用のための保護者のためのヒントが公開され、その中で、『保護者のための Instagram ガイド』も紹介されています。このガイドでは、Instagramのサービス概要や基本的な使い方などが、保護者に向けて分かりやすく説明されています。

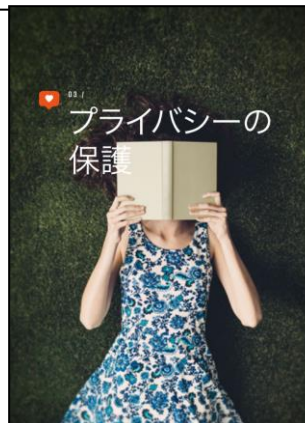
例えば、プライバシー保護の設定方法や Instagram で自分にメッセージを送信できる人の範囲の選択の仕方、いじめや嫌がらせを受けた場合に「報告」で できること等の安全利用のための基本的な操作の他、用語の説明などが掲載されています。



Instagramは写真、動画、メッセージをシェアできるSNSです。Instagramのコミュニティでは人々が好きなことや関心のあることを通じてつながっており、若年層を中心に幅広い世代の方々にご利用いただいています。若者は特別な瞬間をとらえたり、共有したり、会話したりするのに、Instagramの写真、動画、フィルター、コメント、キャプション、絵文字、ハッシュタグといった機能を活用して楽しんでいます。

InstagramはApple iOS、Android、ウェブで動作します。アカウントは13歳から作成できます。

Instagramのミッションは、利用する人々がストーリーズ、リール、フィード、ライブ、IGTV、ダイレクト機能などを通じて、「大好きな人や大切なこと、あなたを近づける」ことです。Instagramのコミュニティのすべての人が自由に自己表現できるようにするために、Instagramを安全で思いやりのある場にするのが重要です。



Instagramを利用するお子様にはまず、オンライン上の自分のアイデンティティやアクティビティ履歴をどこまで公開するかを、コントロールできることを教えてあげてください。利用を始めるにあたり、アカウントを公開にするか非公開にするかについて話し合いましょう。できればお子様のアカウントは非公開に設定することをおすすめします。自分の投稿を誰に見せるか、誰からのリアクションを受け付けるかをコントロールできると分かっていれば、お子様もInstagramを安全にのびのびと利用できます。

警察庁の発表によると、令和3年にSNSを利用して性犯罪などの被害者となった18歳未満の子どもは、全国で1,812人おり、その中で被害児童が多かったサイトの2位がInstagramとなっています。(1位はTwitter)

「子どもがInstagramを使っているが、Instagramがどういうものか分からない」という保護者の方は是非、このガイドに目を通していただき、安全性やプライバシー、利用時間など、子どもたちにふさわしい使い方を、子どもたちと一緒に考え、話し合うきっかけにしてください。

<参考> ・Instagram 安全な利用保護者のためのヒント

https://help.instagram.com/154475974694511/?helpref=hc_fnav

・警察庁「なくそう、子供の性被害」統計データ

https://www.npa.go.jp/policy_area/no_cp/uploads/R3kodomonoseihigaigraph.pdf

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課

☎:0776-20-0745 (直通) メール：kenan@pref.fukui.lg.jp

★子どもの安全安心に関する情報などをTwitterで発信しています→

